

社会福祉法人ほほえみ会

🌸 雅荘だより 🌸 (福祉車両導入ご報告)

🚗 福祉車両整備補助事業

事業実施報告号

2025年度に実施した「福祉車両の整備補助事業」について、導入から検収までの経過と、実施内容・成果をご報告いたします。機関紙1号では導入予定のお知らせをお届けしましたが、今回は事業完了のご報告となります。

1. 事業名:2025年度 福祉車両の整備 補助事業

2. 事業の実施経過

- 2025年10月15日 見積合わせ実施・2025年11月27日 業者と契約締結・発注
- 2025年12月23日 納車・2025年12月31日 請求書受理
- 2026年1月29日 業者へ支払完了・2026年3月27日 検収完了

本事業は、公益財団法人 JKA(競輪・オートレースの補助事業)による補助金を活用して実施しました。

3. 実施内容および成果

(1)実施内容

当施設では、老朽化が進んでいた既存車両の更新を目的として、軽自動車ダイハツ・タントスローパー(車いす仕様スロープ式福祉車両)を新たに整備しました。

〈具体的内容〉

- 車いすのまま乗り降りできるスロープ機能を搭載
- 室内手すり・車いす固定装置の強化
- 送迎ルートに適した軽自動車サイズで小回りが利く
- 衝突軽減ブレーキなど安全装備の充実
- 乗り心地の改善と車内スペースの最適化

これにより、利用者の皆さまが安心して外出できる環境づくりを進めることができました。

(2)成果

- 車いす利用者の乗降がスムーズになり、介助者の身体的負担が軽減
- 安全装備の向上により、送迎時の事故リスクが低減
- 車内スペースの改善により、利用者の快適性が向上
- 車両トラブルが減少し、送迎業務の安定性が向上
- 職員の業務効率が向上し、送迎スケジュールの柔軟性が増加

4. 今後予想される効果

- 安全で安定した送迎サービスの継続により、外出機会が増加
- 社会参加の促進や生活の質向上が期待される
- 介助者の負担軽減により、職員の業務効率が向上
- 緊急時や悪天候時でも柔軟な対応が可能に
- 新車両導入を契機に、施設全体のサービス品質向上と利用者満足度の向上が見込まれる

🌿 施設長コメント

施設長 菊地 広志

このたび、皆さまのご理解とご協力をいただき、雅荘では新たに車いす仕様の福祉車両を導入することができました。長年使用してきた車両は老朽化が進み、故障の不安もありましたが、今回の更新により、より安全で快適な移送サービスを提供できるようになります。

外出や通院は、利用者の皆さまにとって生活の大切な一部です。新しい車両が、皆さまの生活をより豊かにし、安心して過ごせる環境づくりに貢献できることを願っております。

今後とも、雅荘への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

🌈 最後に

今回の福祉車両整備事業は、利用者の皆さまの生活の質向上に大きく寄与するものとなりました。

今後も、安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。

今後とも、雅荘をどうぞよろしくお願いいたします。